

OpenAI

# 企業における AI 活用

7社の先進事例に見る AI 導入の最前線

# 目次

新しい働き方のかたち	3
概要	5
企業での AI 活用を成功に導く7つのヒント	
評価から始める	6
AI を製品に組み込む	9
今すぐ始め、早期から投資する	11
モデルをファインチューニングする	13
AI を現場の専門家に届ける	16
開発の障壁を取り除く	18
大胆な自動化目標を掲げる	21
まとめ	22
参考情報	24

# 新しい働き方のかたち

AIの研究と実装を行う企業として、OpenAIはグローバル企業との連携を重視しています。それは、OpenAIの言語モデルが今後ますます、高度で複雑かつ連携性の高いワークフローやシステムの中で、最も効果を発揮するようになるからです。

現在、AIは以下の3つの分野で、目に見える形で明確な成果を生み出しています。

- 01 **従業員のパフォーマンス向上** 短時間でより高品質な成果を出せるよう、人の業務をサポート

---

- 02 **定型業務の自動化** 繰り返し作業を減らすことで、付加価値の高い業務に人が集中できる環境を実現

---

- 03 **製品・サービスの強化** より適切かつ迅速に、顧客一人ひとりに合わせた体験を提供

AIの活用は、従来のソフトウェア開発やクラウドアプリケーションの導入とは本質的に異なります。実際に導入に成功している企業の多くは、AIを従来とはまったく異なる枠組みとして捉えています。そうした企業では、試行錯誤を前提とする柔軟な姿勢と、段階的に改善を重ねるアプローチが定着しており、その結果、より短期間で価値を創出できるだけでなく、顧客や関係者の理解と支持も得やすくなっています。



## OpenAIのアプローチ：反復的な開発プロセス

OpenAIは、3つの専門チームで構成されています。研究チームは、AIの基盤技術を進化させ、新たなモデルや機能を開発します。応用チームは、こうして開発されたモデルを製品化し、たとえばChatGPT EnterpriseやAPIとして提供します。実装チームは、これらの製品を企業に導入し、最も差し迫ったユースケースへの対応を支援します。

OpenAIは、お客様のユースケースからすばやく学び、その知見を製品改善に活かすために、試行と改善を繰り返す反復的な導入手法を取り入れています。これは、定期的にアップデートを提供し、フィードバックを収集しながら、性能や安全性を段階的に向上させていくアプローチです。結果として、お客様はAIの最新技術にいち早く、継続的にアクセスできるようになります。そして、皆さまからのフィードバックが、将来の製品やモデルの進化を形づくっていきます。

# 企業での AI 活用を成功に導く7つのヒント

- |    |                         |  |
|----|-------------------------|--|
| 01 | <b>評価から始める</b>          | AI モデルが自社のユースケースでどのように機能するかを測るため、体系的な評価プロセスを導入しましょう。             |
| 02 | <b>AI を製品に組み込む</b>      | AI を既存の製品やサービスに組み込むことで、新しい顧客体験や、利用者に合った対応・提案が可能になります。            |
| 03 | <b>今すぐ始め、早期から投資する</b>   | AI 活用の成果は、早期に着手することで複利的に高まります。導入は早ければ早いほど効果的です。                  |
| 04 | <b>モデルをファインチューニングする</b> | AI を自社のユースケースに合わせて最適化することで、得られる価値は飛躍的に高まります。                     |
| 05 | <b>AI を現場の専門家に届ける</b>   | 業務に最も精通しているのは現場の担当者です。AI の活用は、そうした専門家の手に渡ってこそ真価を発揮します。           |
| 06 | <b>開発の障壁を取り除く</b>       | ソフトウェア開発のライフサイクルを自動化することで、開発リソースを解放し、AI の恩恵をさらに引き出せます。           |
| 07 | <b>大胆な自動化目標を掲げる</b>     | 多くの業務には繰り返しの定型作業が含まれており、自動化による効率化が見込めます。高い目標を掲げることが、変革の推進力となります。 |

これからのセクションでは、これら7つのヒントを、それぞれ実際の企業事例とともに詳しくご紹介します。

# 評価から始める

## Morgan Stanley：品質と安全性の確保のために、試行と改善を重ねた導入の取り組み

世界有数の金融サービス企業である Morgan Stanley は、顧客との信頼関係を基盤とするビジネスを展開しています。このため、日々の業務は非常に個人的かつ機密性の高い性質を持っており、AI がそのような領域でどれほど価値を発揮できるのかについては、社内でも慎重な見方がありました。

同社はこうした背景をふまえ、AI を導入する全てのユースケースに対して、集中的かつ厳密な評価を行うことを基本方針としました。ここで言う「評価」とは、特定のユースケースにおいて、AI モデルが実際にどのように機能するかを、基準に沿って正確に測定する体系的なプロセスのことです。さらにこの評価は、各ステップで専門家のフィードバックを取り入れながら、AI 活用の業務プロセスを継続的に改善していく仕組みとしても機能しています。

## 評価の取り組み

Morgan Stanley が最初に行った評価の目的は、社内のファイナンシャルアドバイザーが、より効率的かつ効果的に業務を遂行できるようにすることでした。その前提は非常にシンプルです。アドバイザーが必要な情報にすばやくアクセスでき、定型的な作業に費やす時間を削減できれば、顧客に対して、より多く、より質の高いアドバイスを提供できるという考えに基づいています。

まず、以下の3つの用途でモデル評価を行いました。

- |    |        |  |
|----|--------|--|
| 01 | 翻訳     | AI モデルが生成した翻訳について、正確性と自然さの観点から品質を評価。           |
| 02 | 要約     | 情報の要約において、正確性・関連性・一貫性といった事前に定めた指標に基づいて評価。      |
| 03 | 相談への回答 | ファイナンシャルアドバイザーによる実際の回答と AI の出力を比較し、正確性と関連性を評価。 |

こうした評価に加え、他の検証も重ねることで、Morgan Stanley はこれらのユースケースを本番業務に展開していく十分な確信を得ることができました。

## AI 導入の成果

現在、Morgan Stanley のファイナンシャルアドバイザーの98%が毎日 OpenAI を活用しています。アドバイザーが業務に必要な文書に実際にアクセスできる割合は、従来の20%から80%へと大幅に向上し、検索にかかる時間も劇的に短縮されました。その結果、アドバイザーはより多くの時間を顧客との関係構築に充てることができるようになっていました。こうした成果は、タスクの自動化と、必要な情報をすばやく取得できる仕組みによって支えられています。

「現場のアドバイザーからは非常にポジティブな声が寄せられています。かつては数日かかっていた顧客へのフォローアップ対応も、今では数時間で完了するようになりました。」

**Kaitlin Elliott 氏**

生成 AI ソリューション部門統括責任者



さらに詳しく知りたい方は、動画「[Morgan Stanley: Shaping the Future of Financial Services](#) : Morgan Stanley が描く金融サービスの未来」をご覧ください。か、OpenAI の評価フレームワーク「[Eval Frameworks](#)」について、お気軽にお問い合わせください。



## 評価とは

評価とは、AI モデルが出力する結果を検証・テストするプロセスです。この評価を厳密に行うことで、変化に強く、安定性と信頼性の高いアプリケーションの構築が可能になります。評価は、モデルの出力品質を、あらかじめ設定された基準に照らして測定するタスクを中心に設計されています。評価指標としては、たとえば出力の正確性、社内外の規範・方針への適合性、安全性の確保といった観点があり、どの評価指標を重視するかは、ユースケースによって異なります。

# AI を製品に組み込む

## Indeed が実現する、人間らしい求人マッチング

単調で繰り返しの多い作業を AI で自動化・高速化することで、人間にしかできない業務に人が集中できるようになります。また、AI は多様な情報源から大量のデータを処理できるため、利用者一人ひとりに関連性の高い、よりパーソナライズされた体験を提供できます。こうして生まれる体験は、より「人間らしさ」を感じられる顧客体験へとつながります。

この可能性を実際に活かしているのが、世界最大の求人サイト Indeed です。Indeed は GPT-4o mini を活用し、求職者と求人の新たなマッチングのあり方を切り拓いています。

## 「なぜ」を伝える力

求職者にとっての Indeed 体験は、優れた求人提案から始まりますが、それはあくまで第一歩にすぎません。本質的な価値は、「なぜこの仕事なのか」を、求職者本人に伝えることにあります。

Indeed は、GPT-4o mini のデータ分析力と自然言語生成機能を活用し、求職者向けのメールやメッセージの中で、その理由を分かりやすく伝える文面を生成しています。また、Indeed の人気機能である「応募をおすすめ」においても、AI を使って、求職者の経歴やこれまでの職務経歴がなぜその求人にもマッチしているのかを説明しています。

Indeed は、求職者や求人に関する文脈情報を取り入れた GPT ベースの新しいマッチングエンジンを、従来の仕組みと比較検証しました。その結果、次のような顕著な成果が得られました。

**求人への応募数が20%増加**

**採用につながる割合も13%向上**

応募数が増えただけでなく、実際に採用に結びつくケースも大きく増加したのです。

Indeed は、月に2,000万件以上のメッセージを求職者に送信しており、Web サイトには毎月3億5,000万件を超えるアクセスがあります。このような大規模なサービス運用において、前述の成果は事業全体に非常に大きなインパクトをもたらしています。

一方で、規模を拡大することは、それだけトークンの使用量が増えることも意味します。効率化を図るため、OpenAI と Indeed は共同で、より軽量の GPT モデルをファインチューニングし、トークン使用量を60%削減しながらも、同等の成果を実現しました。

「自分に合った仕事を見つけること」、そして「その仕事がなぜ自分に適しているのかを理解すること」は、本質的に人間的な価値のある成果です。Indeed のチームは AI を活用し、より多くの人々を、より速く仕事へとつなげることに成功しています。

「この新たなインフラに引き続き投資していくことで、収益をさらに伸ばす大きなチャンスがあると確信しています」

**Chris Hyams 氏**  
CEO



## 今すぐ始めて、早期に投資する

### **Klarna が実感する、AI 活用による知識の蓄積効果**

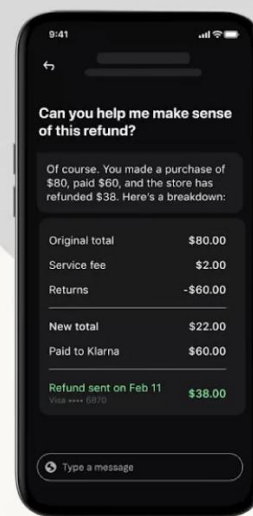
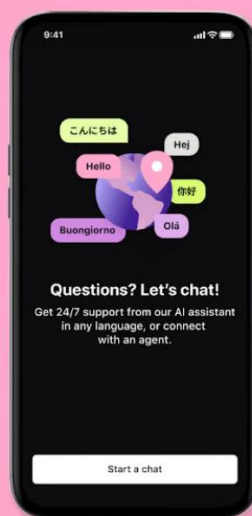
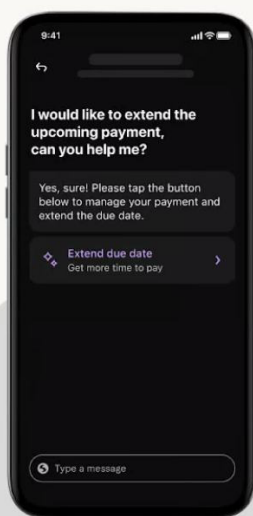
AI は、ほとんどの場合「導入すればすぐに使える」ものではありません。ユースケースは、反復的な改善を重ねることで徐々に洗練され、より大きな効果を発揮するようになります。だからこそ、早期に取り組みを始めることで、継続的な改善による蓄積的なメリットを、より大きく享受できるのです。

国際的な決済ネットワークおよびショッピングプラットフォームである Klarna は、カスタマーサービスの効率化を目的に、新たな AI アシスタントを導入しました。導入からわずか数か月で、このアシスタントはカスタマーサポートチャット全体の約3分の2を担うようになり、数百人分のオペレーター業務を代替する役割も果たしています。その結果、平均対応時間は11分から2分へと大幅に短縮されました。この取り組みによる利益改善効果は、4,000万ドル（約60億円）に達すると見込まれており、顧客満足度も人によるサポートと同等の水準を維持しています。こうした成果は、一朝一夕で得られたものではありません。Klarna は、この AI アシスタントを継続的にテスト・改善しながら、パフォーマンスを高めてきました。

さらに注目すべきは、従業員の90%が日常業務の中で AI を活用していることです。組織全体での活用が進んだことで、社内施策のスピードと効率が向上し、顧客体験の改善も継続的に進められています。早期の投資と全社的な導入推進により、Klarna では AI の効果が蓄積的に広がり、ビジネス全体の成果創出へとつながっています。

「この AI による顧客対応の進化は、  
お客さまにはより良い価格で質の高い体験を、  
従業員にはより挑戦しがいのある仕事を、  
そして投資家にはより高いリターンをもたらします」

**Sebastian Siemiatkowski 氏**  
共同創業者 兼 CEO



**Klarna**

# モデルをファインチューニングする

## Lowe's が実現する、商品検索の精度向上

AI 活用で大きな成果を上げている企業の多くは、自社のニーズに合わせて AI モデルをカスタマイズし、トレーニングに時間とリソースを投じています。こうしたニーズに応えるため、OpenAI では、モデルのカスタマイズやファインチューニングをより手軽に実現できるよう、API への継続的な投資を行ってきました。企業が自ら実装を進める場合も、OpenAI のツールやサポートを活用する場合も対応できるよう、柔軟に設計されています。

こうした中、Fortune 50 に選出されているホームセンター大手の Lowe's は、EC サイトにおける商品検索機能の精度と関連性の向上を目指し、OpenAI のテクノロジーを活用しています。多数のサプライヤーと取引のある Lowe's にとっては、商品データの不備や記載のばらつきが課題となっており、AI を活用した検索精度の改善は重要なテーマとなっていました。

商品の検索精度を高める鍵は、正確な商品説明と適切なタグ付けに加え、Lowe's の顧客がどのように商品を検索するかという行動特性を理解することにあります。この検索行動は商品カテゴリによって異なるため、それぞれに応じた柔軟な対応が求められます。そこで力を発揮するのが、モデルのファインチューニングです。

Lowe's のチームは、OpenAI のモデルをファインチューニングすることで、商品タグの付与精度を20%向上させ、エラー検出率も60%改善することに成功しました。

「自社の商品データを使って GPT-3.5 をファインチューニングし、その成果を確認したとき、チーム全体に高揚感が広がったのをはっきりと感じました。この時点で私たちは、『これは成功する』と確信したのです」

### **Nishant Gupta 氏**

データ・アナリティクスおよび計算知能担当シニア  
ディレクター



補足情報：OpenAI は、EC サイトの商品検索のさらなる高度化に加え、医療用画像診断や自動運転といった分野の課題解決にも貢献すべく「Vision Fine-Tuning」（画像対応ファインチューニング機能）をリリースしました。

## ファインチューニングとは

GPT モデルを「既製のスーツ」にたとえるなら、ファインチューニングは「オーダーメイドで仕立てる」ことに当たります。つまり、自社のデータやニーズに応じて、モデルの動作を最適な形に調整するプロセスです。

## ファインチューニングの重要性

### 精度の向上

商品カタログや社内 FAQ など、自社固有のデータで学習させることで、より関連性が高く、ブランドに合った出力が得られます。

### 業界に特化した理解

ファインチューニングを施したモデルは、業界特有の用語や表現、文脈をより正確に理解できるようになります。

### 一貫したトーンとスタイル

小売業であれば、全ての商品説明がブランドトーンに沿った内容に統一されます。法律事務所であれば、常に正しい形式で引用文を生成できます。

### 作業の効率化

出力の手直しや再確認の手間が減ることで、業務担当者はより付加価値の高い業務に集中できるようになります。

# AI を現場の専門家に届ける

## BBVA は、実務の専門家主導で AI を導入

日々の業務に最も精通し、現場の課題を深く理解しているのは、実際にその業務を担っている従業員です。そうした現場の専門家に AI を託すことで、すべての業務に共通する汎用的な仕組みを構築するよりも、現場に即した、より効果的な成果が得られることがあります。

世界的な銀行グループである BBVA は、12万5,000人を超える従業員がそれぞれ異なる課題やニーズを抱えていることを踏まえ、全員が AI を活用できる環境を整えることを決断しました。その実現に向けては、法務、コンプライアンス、情報セキュリティ部門と密に連携し、責任ある AI 活用の体制を構築した上で、ChatGPT Enterprise を全社に展開しました。さらに、従業員一人ひとりが自分の業務に合った AI のユースケースを自由に見つけ、活用できるような環境が整えられました。

「通常、当社のような業種では、たとえプロトタイプの開発であっても、技術的なリソースと時間が必要です」と語るのは、BBVA のグローバル AI 導入責任者、Elena Alfaro 氏。「しかしカスタム GPT を使えば、誰でも自分の課題に合わせたアプリを簡単に作成でき、導入のハードルも非常に低くなります」

BBVA では、わずか5か月間で従業員が2,900件以上のカスタム GPT を作成しました。中には、プロジェクトや業務プロセスの所要時間を数週間から数時間へと大幅に短縮したものもあります。こうした成果は、以下のようにさまざまな部門・分野に広がっています。

### 信用リスク部門

ChatGPT を活用し、顧客の与信判断をより迅速かつ正確に実施しています。

### 法務部門

ポリシーやコンプライアンスなどに関する年間4万件以上の質問対応に活用されています。

### カスタマーサービス部門

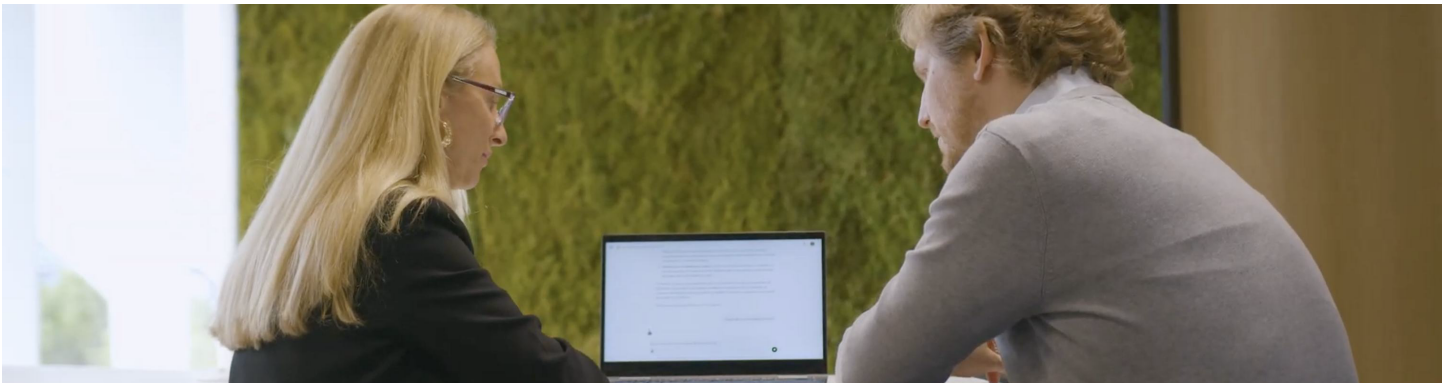
顧客ロイヤルティ指標調査の回答に対して、感情分析を自動で実施しています。

この成功の波は、マーケティング、リスク管理、オペレーションなど、さらに多くの部門へと広がり続けています。こうした成果が生まれたのは、それぞれの分野に精通した現場の人たちの手に、AIを託したからです。

「私たちは、ChatGPT への投資を『人への投資』だと考えています。AI は、私たちの可能性を広げ、生産性と創造性を高めてくれる存在です」

**Elena Alfaro**

グローバル AI 導入責任者



補足情報：ChatGPT に搭載された「Deep Research」機能を使えば、AI が自律的に調査・分析を行い、作業を進めることができます。プロンプトを入力するだけで、数百のオンライン情報源を横断的に参照・統合し、博士課程レベルの網羅的なレポートを自動生成することも可能です。この機能により、担当者はあらゆるトピックについて、深く緻密な調査結果に数分でアクセスできるようになり、業務の生産性が飛躍的に向上します。OpenAI 内部で行われた分野横断型の専門家評価では、Deep Research を活用することで、1件当たりの複雑な業務タスクの所要時間が平均で4時間短縮されるという結果が得られました。

より詳しい情報は、動画「[BBVA puts AI into the hands of every team](#)：BBVA が全てのチームに AI を導入」をご覧ください。

# 開発の障壁を取り除く

## Mercado Libre は、全社で一貫した AI アプリ開発を実現

多くの組織にとって、開発リソースの不足は成長の妨げとなっています。エンジニアリングチームに過剰な負荷がかかると、イノベーションが停滞し、アプリやアイデアの開発が後回しになりがちです。

ラテンアメリカ最大の EC・フィンテック企業である Mercado Libre は、こうした課題を解決するために OpenAI と連携し、独自の開発プラットフォーム「Verdi」を構築しました。このプラットフォームには GPT-4o および GPT-4o mini が搭載されており、17,000 人の社内開発者が、AI アプリケーションを迅速かつ高品質に、標準化されたプロセスで構築できる環境を整えています。

Verdi の特長は、自然言語を主要なインターフェースとして使える点にあります。言語モデル、Python ノード、各種 API を統合し、スケーラブルで一貫性のある開発基盤を実現しています。開発者はソースコードに直接触れることなく、効率的にアプリケーションを構築できるようになりました。さらに、セキュリティ対策やガードレール、ルーティングロジックなども標準で組み込まれており、安全かつスムーズな開発環境が確保されています。

その結果、Mercado Libre における AI アプリケーション開発は大きく加速し、従業員がさまざまな革新的な取り組みを実現できるようになりました。現在、以下のような具体的な業務改善が進んでいます。

---

### 在庫登録の効率化

GPT-4o mini の Vision 機能を活用し、商品画像へのタグ付けと商品情報の自動補完を実現。従来の100倍のスピードで、商品を整理・カタログ登録できるようになりました。

---

### 不正検知の高度化

毎日数百万件におよぶ出品データを評価し、不正の疑いがある商品の検出精度を約99%まで向上させました。

---

### 商品説明のカスタマイズ

スペイン語・ポルトガル語の地域ごとの微妙な言語差にも対応し、商品タイトルや説明文を自動で翻訳・最適化しています。

---

### 注文数の増加

利用者のレビューを自動で要約することで、購入検討中の利用者が短時間で商品評価を把握でき、購入判断をスムーズに後押ししています。

---

### 通知のパーソナライズ

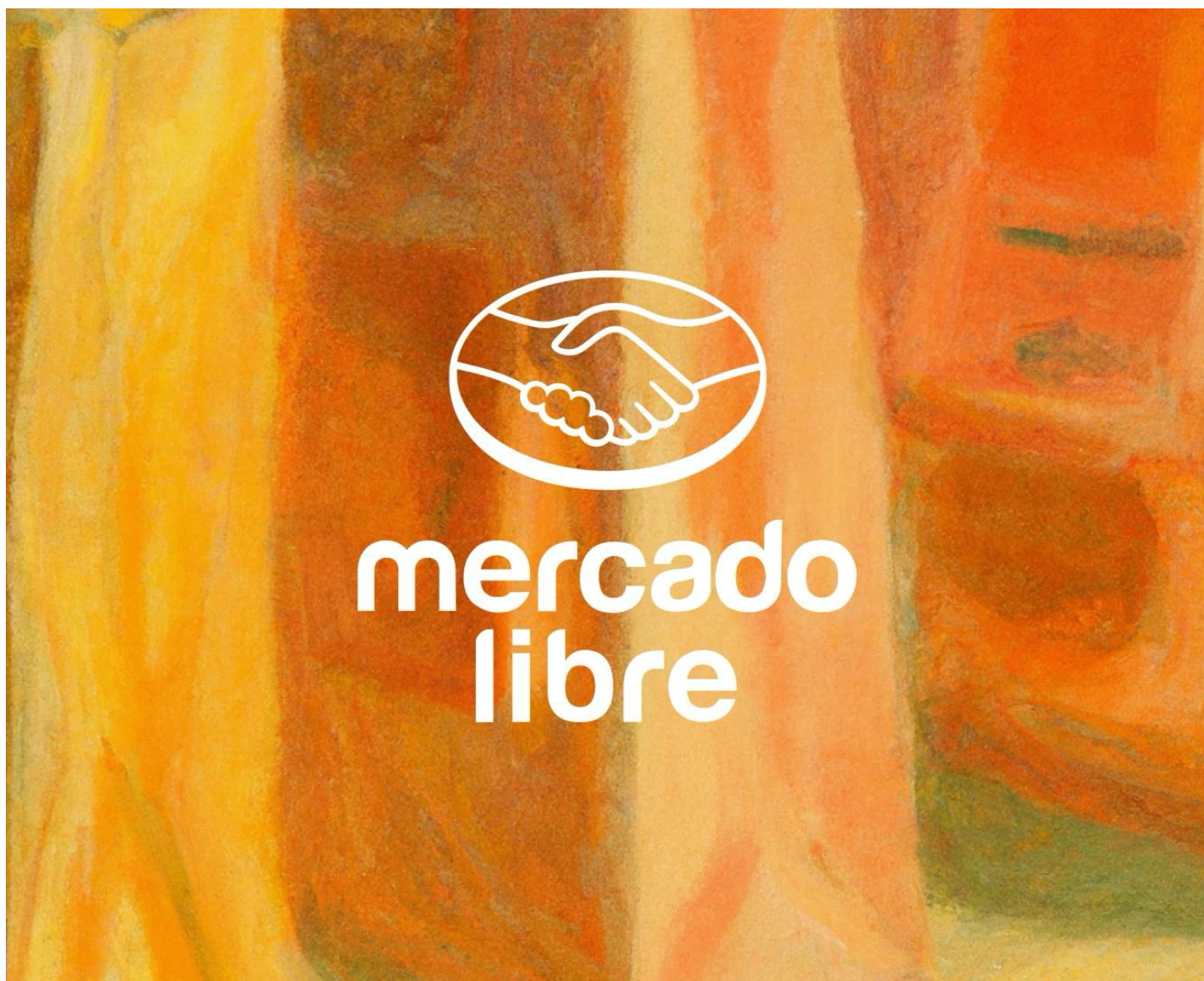
利用者の関心に応じてプッシュ通知を最適化し、利用促進や商品レコメンドの精度向上につなげています。

Mercado Libre の次なる取り組みは、Verdi を活用して物流の最適化や配送遅延の削減を実現し、組織全体でより高いインパクトをもたらす業務に取り組むことです。

「私たちは GPT-4o mini を活用し、操作や思考の負担を軽減しながら、組織全体が新しいソリューションを反復的に試行・開発・導入できる、理想的な AI プラットフォームを設計しました」

**Sebastian Barrios 氏**

テクノロジー担当上級副社長



# 大胆な自動化目標を掲げる

## OpenAI が自社業務にどのように AI を活用しているか

OpenAI では、日々の業務の中で AI を活用しており、社内のさまざまな業務プロセスに対して、新たな自動化の機会を常に探し出しています。

以前、OpenAI のカスタマーサポート担当者は、複数の社内システムにアクセスして状況を把握し、お客さまへの回答を考え、適切な対応を取るという作業に多くの時間を費やしていました。この課題を解決するために、OpenAI は社内向けの自動化プラットフォームを構築しました。これは既存の業務フローやシステムの上に追加されるかたちで動作し、定型的な作業の自動化と、判断や対応の迅速化を可能にするものです。

最初に取り組んだユースケースは、Gmail 上でお客さま対応メールを生成し、必要な処理を自動で実行するというものでした。このプラットフォームを使えば、OpenAI の担当者はすぐに顧客情報や社内の関連情報を取得し、それらを基に返信メールを作成したり、アカウントの更新やサポートチケットの発行などの業務を実行したりすることができます。

このように、既存の業務フローに AI を組み込むことで、OpenAI の従業員はより効率的かつ迅速に、そしてお客さまに寄り添った対応ができるようになりました。このプラットフォームは現在、毎月数十万件の業務を自動処理しており、従業員がより付加価値の高い仕事に集中できるよう支援しています。こうした成果を受けて、現在では他の部門にも活用が広がりつつあります。

この変化が実現した背景には、非効率な業務を仕方のないものとせず、初めから「どこまで自動化できるか」という明確で大胆な目標を掲げて取り組んだことがあります。

# お互いから学び合う

これまでご紹介してきた事例が示すように、全ての企業には、AI を活用して成果を高めるためのチャンスが数多く眠っています。ユースケースは企業や業界によって異なりますが、そこから得られるヒントはあらゆる分野に応用可能です。

成功している企業には、共通の特徴があります。それは、まずやってみるという柔軟かつ前向きな姿勢と、厳密な評価と安全対策を並行して行う姿勢を持っていることです。AI モデルを全ての業務一気に導入するのではなく、効果が高く、導入コストの低いユースケースからスタートし、試行錯誤を通じて学びを得ながら、その知見を徐々に他の領域へ広げています。

その結果、業務プロセスの高速化と精度向上、顧客体験のさらなるパーソナライズ化、そして従業員が人にしかできない価値ある業務に集中できる環境の実現といった、明確で測定可能な成果が生まれています。

現在では、多くの企業が AI を組み込んだワークフローを導入し、ツールやリソース、エージェントなどを組み合わせて、より複雑な業務の自動化にも取り組み始めています。

OpenAI も今後、こうした最前線での学びを皆さまに共有し、皆さまが AI の可能性を検討・実践していく上での一助となれるよう、引き続き努めてまいります。

## 補足情報：Operator

Operator は、OpenAI が推進する「エージェント型アプローチ」（AI が自律的に判断・行動する仕組み）を業務に応用した活用例です。仮想ブラウザを搭載しており、ウェブページを人間のよう操作し、ボタンのクリック、フォーム入力、データ収集などを自動で実行できます。

さらに、特別なシステム連携や API の開発を行うことなく、さまざまなツールやシステムを横断してプロセスを実行できる点が大きな特長です。これにより、従来は人の手を必要としていた業務の多くが自動化され、以下のような場面で活用されています。

ソフトウェアのテスト・品質保証の自動化：Operator がウェブアプリを実際のユーザーのよう操作し、UI の不具合を検出します。

記録システムの自動更新：技術的な指示や API 接続が不要で、ユーザーに代わって必要な情報を入力し、各種システムを更新します。

このように、Operator を活用することで、エンドツーエンドの業務自動化が実現できます。繰り返し発生する作業から人を解放し、企業全体の生産性向上に貢献します。

# 信頼できる法人向け AI プラットフォーム

## セキュリティとプライバシーに関する取り組み

法人のお客さまにとって、セキュリティ・プライバシー・データ管理の確実性は最も重要な要素です。OpenAI では、以下の取り組みにより、安全かつ安心してご利用いただける環境を提供しています。

**データは常にお客さまのものです** お客さまのコンテンツやデータは、OpenAI のモデル学習には一切使用されません。データの所有権は常にお客さまに帰属します。

**法人向けの高度なコンプライアンス対応** データは、通信中・保存中のいずれも暗号化されており、SOC 2 Type 2（第三者による運用監査）や CSA STAR Level 1（クラウドセキュリティの国際認証）などの、業界標準のセキュリティ基準に準拠しています。

**柔軟なアクセス制御** 誰がどのデータにアクセス・管理できるかを、組織のルールに沿って細かく設定できます。これにより、社内ガバナンスやコンプライアンス要件にも対応可能です。

**データ保持の設定も柔軟に** ログ記録や保存に関する設定は、貴社のポリシーに応じて自由に調整いただけます。

詳しくは、[OpenAI セキュリティページ](#) または [OpenAI Security Portal](#) をご覧ください。

# 参考資料

[法人向け OpenAI](#)

[OpenAI 活用事例](#)

[ChatGPT Enterprise](#)

[OpenAI の安全性](#)

[API プラットフォーム](#)

OpenAI は AI の研究と展開を行う会社です。

私たちの使命は、汎用人工知能（AGI）が全人類に利益をもたらすようにすることです。

# OpenAI

